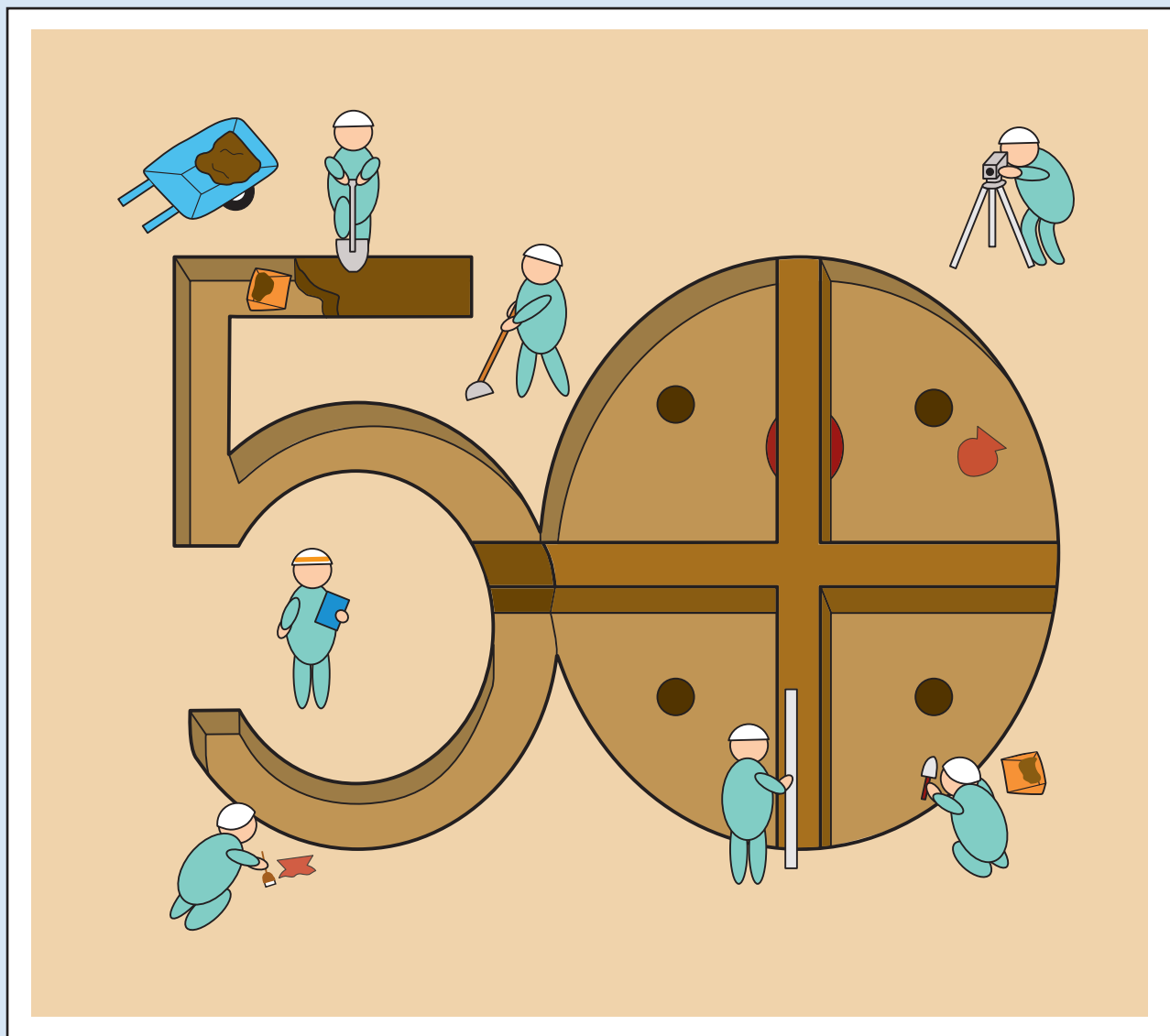




埋文よこはま

50

～埋文センターの調査研究員紹介～



今号は記念すべき『埋文よこはま』50号です。2000年3月に1号を発行してから25年間、横浜市民のみなさまへ地域の埋蔵文化財についてより知っていただくために、あらゆる時代の遺跡や遺物の情報を発信し続けてまいりました。この広報誌を通して、少しでも埋蔵文化財を身近に感じていただけたら、とてもうれしく思います。

50号はわたしたち埋蔵文化財センターの調査研究員にスポットライトをあてたテーマにしました。なぜ考古学を志したのか？^{こころざ}どんな仕事をしているのか？ぜひ考古学の幅広さに触れてみてください。

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安桃
土山

江戸

明治～現在

約 15,600 年前

約 2,400 年前

約 1,700 年前

592 年

710 年

794 年

1185 年

1338 年

1573 年

1603 年

1868 年

2025 年



イニシャル **N.F**
 好きな時代 **弥生～古墳**
 得意なモノ・コト **古墳出現期研究**

考古学を学んだきっかけ

考古学者を目指したきっかけは映画「インディージョーンズ」。とくに1作目の「レイダースー失われたアーカー」の、エジプトで「魂の井戸」を探すシーンには、N.F少年の古代熱を極限まで高め、ヒエログリフの勉強に駆り立てました。その後、エジプト考古学への道はあきらめてしまいましたが、日本考古学の精緻さに感銘を受け、のめり込んでいきました。

思い出に残っている発掘調査はどんな調査？

大学時代に数年間参加した、山形県川西町の下小松古墳群です。200基以上の小さな古墳が集まった群集墳で、米沢盆地を見下ろすアカマツの里山(松茸!)のなかに土山がポコポコと群在しており、毎年夏休みに数基ずつ発掘していました。良く晴れた米沢盆地の風景は、眼下に稲穂が風にそよぎ、真っ赤な地山は真っ青な空と対照的でした。ここで、土の見方、墓壇(埋葬施設)の検出の仕方、土層断面のベルトをどのような方向で設定するか、などの発掘の基礎を学びました。

わたしのおすすめ！横浜の遺跡

新羽南古墳 港北区 古墳時代早期～前期
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



遺跡遠景



出土遺物

どんな遺跡？

新横浜駅の北方、南へ突き出る長い古状台地の突端付近に立地。鶴見川の低地を180°以上のパノラマで見下ろす絶景ロケーションです。墳頂から木棺跡が見つかり、中から鉄剣・鉄槍の武器2点の他、琥珀製勾玉1点、蛇紋岩製管玉3点、ガラス小玉約50点が出土し、また木棺跡上層から祭祀儀礼に使用した土器が出土しています。

おすすめポイント！

出土土器の年代から、今のところ発掘された中では横浜最古の古墳と考えられます。木棺跡から出土した鉄槍は古相を示す貴重品で、刃の根本部分に目釘孔が二つあり(刃関双孔)、柄は有機質が良く残り、4枚の木製の柄のパーツを組み合わせて糸で巻いている様子が観察できます(埋文センターで展示中!)



イニシャル **K.M**
 好きな時代 **中世～近世**
 得意なモノ・コト **タイ陶磁器**

考古学を学んだきっかけ

はっきりと覚えていません。大学院生の時、教官に連れられて中東の港町遺跡の発掘調査に参加した際、大量に出土する産地不明青磁を前にして、「タイとかミャンマーの青磁だと思うけど窯跡に行かないとわからないな」という教官のつぶやきを真に受けて、夏休みにバックパックを背負ってタイの窯跡を目指したのがタイ陶磁器を研究するきっかけでした。

思い出に残っている発掘調査はどんな調査？

タイの大学院に留学した際の発掘合宿は強烈な思い出です。地方の環濠集落遺跡の発掘調査でしたが、学部生や大学院生総勢100名以上+教官が1カ月間、合宿形式で発掘調査を行います。タイ人以外の参加者は私だけだったと思います。田舎の小学校を宿舍として起床～現場作業～ミーティング～記録整理～就寝まで、オールタイ語の毎日を1カ月経験しました。寝言もタイ語だったようです。非常にしんどかったのですが、二度と経験できない思い出です。

わたしのおすすめ！横浜の遺跡

洲千島遺跡 中区 近代
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



発掘調査風景



出土陶磁器

どんな遺跡？

現在の横浜市庁舎に位置する遺跡です。遺跡は洲千島と呼ばれたかつての砂洲の先端に位置しています。平成27(2015)年に実施された発掘調査では、横浜銀行集会所や本庁小学校校舎など、幕末から明治・大正期にかけての遺構が検出されました。

おすすめポイント！

横浜商品倉庫弁天橋出張所と推定される倉庫跡で保管され関東大震災で被災した大量の商品がおすすめです。この商品の国際色豊かな品揃えこそが国際交易港横浜を象徴しています。商品には、イーストマンコダック社のガラス乾板のような輸入品もあれば、国内各地で生産されて横浜から輸出される予定であった輸出陶磁器も見られます。このうち国内産の輸出陶磁器には産地不明品も含まれており、今後の調査研究が期待されます。



イニシャル **S.N**

好きな時代 **縄文**

得意なモノ・コト **動物の骨**

考古学を学んだきっかけ

中学生の頃、図鑑で見たエジプトやヒッタイトにあこがれて、将来はヒッタイトの考古学をやりたいと思っていました。

大学受験で失敗し、慌てて受けた考古学専攻のある私立大学が日本考古学をメインとするところで、気づけば、その面白さと考古学を学ぶ人たちの愉快さと懐の深さに、すっかり夢中に。

思い出に残っている発掘調査はどんな調査？

ホンジュラスやエルサルバドルの中米の調査は印象深いです。特にエルサルバドルの貝塚調査では、まだ明け方暗いうちから宿を出て、調査に向かうのですが、道の途中で馬が行き倒れていたたり、貝塚の上ではちょうどよい石があると思って座っていたら牛の糞だったり。貝塚から出る骨の分析のため、一緒に地元の人舟に乗り、漁に出たり、コスタリカまで行って、魚類の骨を調べたりしました。イグアナの標本を野外で作った時は大変でした。魚の骨を乾かしていたら、猫にやられたりど、発掘調査そのものよりそれにまつわるエピソードが盛りだくさんでした。

わたしのおすすめ！横浜の遺跡

もとまちかいづか

元町貝塚 中区 縄文時代・近代



貝塚トレンチ掘削後



クジラ下顎骨出土状況

どんな遺跡？

元町貝塚は横浜の観光スポットでもある中区の元町通りを見下ろすアメリカ山公園にあります。ここは幕末から明治の初期にかけてアメリカ公使館の用地として予定されていた土地であり、ジェラール瓦や陶磁器、レンガなどの遺物が出土しています。半地下式の室のような施設が想定されている竪穴状遺構では、床面や壁に切り石が敷設されています。

近代遺構の下からは貝塚もみつかっています。貝層は縄文時代中期初頭の五領ヶ台式を中心としており、この時期の貝塚は神奈川県内では数か所しか確認できておらず貴重です。

おすすめポイント！

近代遺跡と貝塚という横浜を象徴する遺跡です。貝塚から出る豊富な動物の骨にはイルカやヒゲクジラ、それからサルの骨もかなりの割合で含まれています。また糞が固まり石化した「糞石」も多く出土するなど、他の遺跡ではあまりみつからない資料がみついていることも推しポイントです。



ニックネーム **マーク**

好きな時代 **古墳**

得意なモノ・コト **古墳・方位**

考古学を学んだきっかけ

大学では歴史学科考古学専攻に入り、ただただ漫然と過ごしていた3年目の春..！転機が訪れました。辞退者が出てしまい枠が空いてしまった。誰かいないものか...と、困っていた先生に誘われて西表島へ！調査では先生・先輩の流れを乱さないように周りを見ながら作業すること、つまり思いやりが求められます。とても緊張感のある初現場でしたが、この発掘調査に参加したことが考古学に目覚めるきっかけになりました。

思い出に残っている発掘調査はどんな調査？

沖縄県西表島での調査です！沖縄先史時代の貝塚と近世集落跡、名称は「網取遺跡」。1971年（昭和46年）に廃村になっており、道路が整備されておらず、陸路では行くことができません。当時は週1の連絡船もありましたが、2010年にはそれも廃止になっています。他には北海道礼文島香深井遺跡など、いろいろな場所に行きましたが、非日常の地で2～4週間、合宿形式の発掘調査はいつでも思い出がいっぱいです。

わたしのおすすめ！横浜の遺跡

きたがわおもてのうえ

北川表の上遺跡 都筑区 旧石器～平安時代



40号竪穴住居址遺物出土状況



炭化米塊出土状況

どんな遺跡？

都筑区の早瀬川に面した台地上に立地する遺跡です。発掘調査により100軒以上の建物址が見つかっています。特に弥生～古墳時代のムラは周辺の拠点集落とされています。

おすすめポイント！

この遺跡では6世紀頃（古墳時代）の建物址から「おにぎり」が発見されています！おにぎりは15cmほどの大きさで、炭化した米の塊（X線分析から8つのブロックの集合）として見つかりました。塊には樹皮の一部が張り付いており、網代（編みカゴ）の痕跡も残されていました。また、表面近くの粒は柔らかくつぶれていることから調理後であり、籾殻が付着した米がなく、溝が明瞭なことから玄米であったと考えられています。

当時のおにぎりの「具」がとっても気になるのですが、残念ながら具や混ぜ物は入っていませんでした。



イニシャル **Y.N**

好きな時代 **古墳**

得意なモノ・コト **カマド**

考古学を学んだきっかけ

小学生の頃にテレビで放送されていたエジプトのピラミッドを発掘する番組を見て、なんて楽しそうな仕事なんだ!と思いました。高校生の時に発掘体験に参加して、この道に進もうと決断!大学では古墳時代に竪穴住居に備えつけられるようになるカマドをとおして、新しい技術がどのように広まっていくのか、どのように受け入れられていくのかを研究していました。

思い出に残っている発掘調査はどんな調査?

大学生の時に考古学実習で発掘した群馬県の漆山古墳が思い出に残っています。この古墳は横穴式石室をそなえた6世紀後半の前方後円墳です。まだ考古学についてなにもわかっていなかった2年生のころから大学院生までの4年間、毎年夏休みに発掘していました。埴輪の破片がたくさん出てきた時は埴輪群像が出てきた!と興奮しましたが、後にそれは平安時代に盗掘された時にごちゃごちゃになって埋められたものだとわかりました…。そんなちょっと残念なエピソードも含めて思い出です。

わたしのおすすめ!横浜の遺跡

くでんたいらだいい
公田平台遺跡 栄区 古墳時代



44号竪穴住居跡
遺物出土状況



11号竪穴住居跡
カマド

どんな遺跡?

柏尾川支流の独川流域に位置する遺跡です。6世紀後半(古墳時代後期)になるとこの周辺に多くの横穴墓群が造営されました。公田平台遺跡は横穴墓群を造営した集団の集落のひとつであると考えられています。この遺跡では古墳時代の竪穴住居が38軒発見されており、このうち7軒は泥岩の切石のみを使ったカマドが備えつけられています。この造りは神奈川県では初めての事例です。

おすすめポイント!

この遺跡のカマドのつくりが珍しくておすすめです!それまでの調理設備だった炉に代わりカマドは5世紀中頃(古墳時代中期)に導入されました。頑丈にするための芯材として石や土器の甕などが粘土の中に埋められていることはあります。しかし、このカマドは粘土を使用せず切石だけでつくられていました。長野県や広島県などでいくつかみつかっていますが非常に数が少ないです。



イニシャル **A.U**

好きな時代 **弥生**

得意なモノ・コト **墳丘墓・遺跡の3D化**

考古学を学んだきっかけ

博物館が好きで、小さいころからよく両親に連れて行ってもらっていました。その中でも、古代エジプトの展示を見たことがきっかけで考古学に興味を持つようになりました。また、地元の駅ビルに出張展示があったことや、家の近くに遺跡の資料館があったことが「地元にも遺跡がある」という気付きにつながり、考古学を学んでみたいと思うようになりました。

思い出に残っている発掘調査はどんな調査?

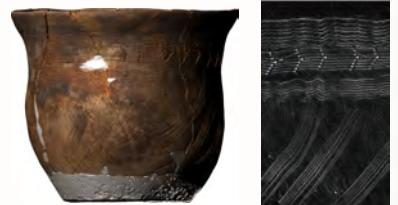
大学生の頃に参加した雍城遺跡の発掘調査が思い出に残っています。この遺跡は中国・陝西省にある遺跡で春秋時代(2700~2400年前)の秦の都があった場所です。宮殿を調査しており、宮殿の屋根に使われていた瓦や近くに埋められていた甕棺、清(300~100年前)の溝を発掘しました。調査内容もちろんですが、北京大学の学生と二人一組になって英語や中国語、日本語で会話をしながら発掘調査をしたことも思い出に残っています。一緒に調査をした学生とは今でも連絡を取っており、お互いの近況や日中の考古学について話しています。

わたしのおすすめ!横浜の遺跡

てらした
寺下遺跡 青葉区 縄文時代~近世



YT-2竪穴住居跡 遺物出土状況



甕(朝光寺原式土器)

どんな遺跡?

市ヶ尾駅の北西に位置し、縄文時代から近世まで断続的に人々が利用していたことが分かっています。弥生時代後期の住居は7軒あり、朝光寺原式土器が出土しています。また、隣接する稲荷前古墳群の南端が確認されました。

おすすめポイント!

YT-2 という竪穴住居から出土している朝光寺原式土器がおすすめです。この土器には簾状文という横方向に施される模様と斜行文という斜め方向に施される模様がついています。斜行文をよく観察してみると、右の2本だけ他から離れていますが模様の形は少し違います。先行研究では竹を使用したと言われていました。また、簾状文と斜行文は8本の溝で構成されていますが、斜行文が一部7本になっている箇所もあります。土器の表面が湾曲していたため、うまく模様が付かなかったのでしょうか。想像力をかきたえられる土器なのでおすすめです。

埋蔵文化財センターのお仕事 発掘調査編

①準備



調査に必要な道具を用意したり、調査する範囲を決めたりします。

②遺構検出



表土を取り、ジョレンなどで表面を削ると遺構の輪郭がみえるようになります。

④記録 (写真・図面)



土層や遺物がでてきた状況を写真に撮ったり図面を書きます。

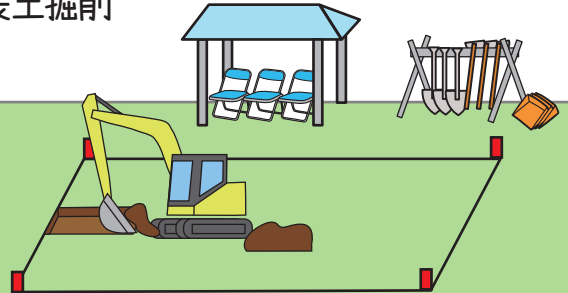
⑥埋め戻し



調査が完了するとほとんどの場合は土を戻して埋めます。

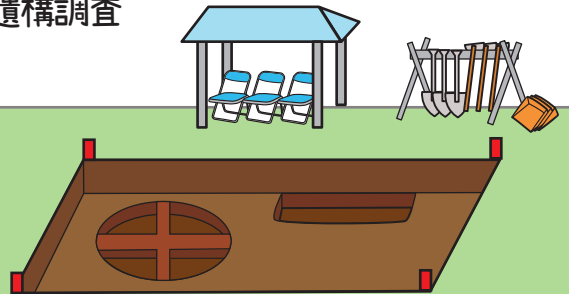
埋蔵文化財センターの主な仕事は発掘調査です。どのような流れで発掘調査がおこなわれるのか、作業工程をイラストで説明します。

②表土掘削



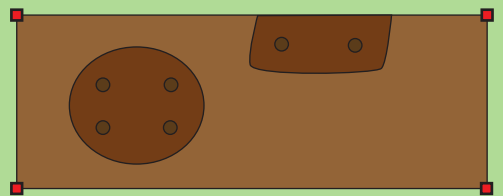
畑の耕作土など遺構がない表面の層（表土）は重機で取り除きます。

③遺構調査



どのように遺構が埋まったのかを調べるため十字状に掘り残して調査します。

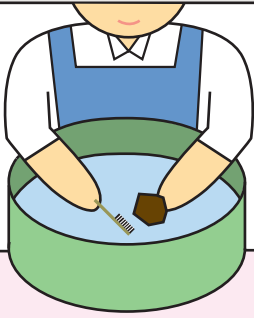
⑤完掘全景



遺構調査が終わると最後に調査区全体の写真を撮ります。最近はドローンを使って撮影することが多いです。

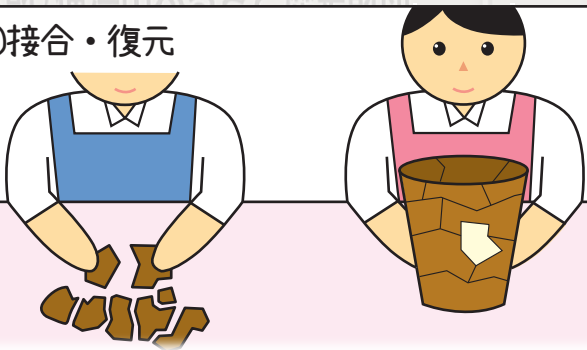
埋蔵文化財センターのお仕事 報告書編

①洗い



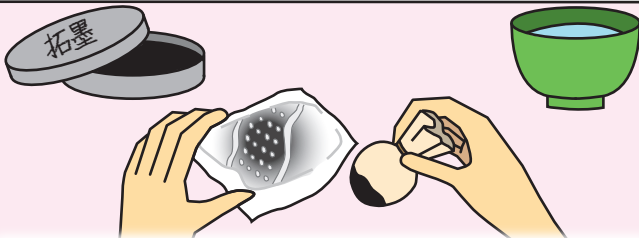
まずは土のついた土器や石器などをやさしく丁寧にブラシで洗います。

③接合・復元



土器のかけらをくっつけて、みつけられなかった部分には石こうをいれます。

⑤拓本



土器に画仙紙を貼って墨をつけると凹み部分が白く残ります。すると模様ははっきりみえるようになります。

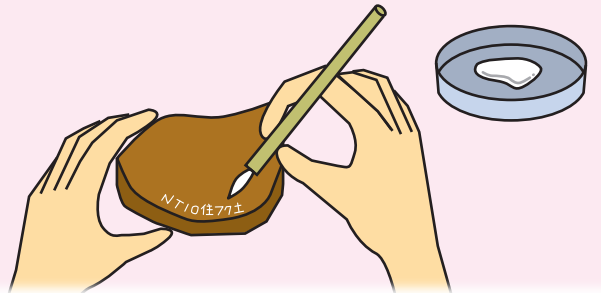
⑦原稿執筆・編集



トレースした遺物や遺構の実測図、拓本と写真を組み合わせ、情報をまとめてどんな遺跡だったかの説明を書きます。

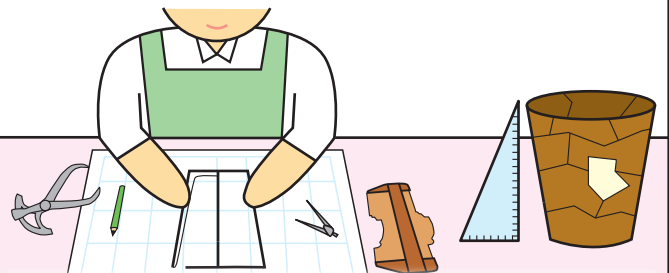
発掘調査が終わると、成果をまとめた報告書をつくりまます。たくさんの工程を経て、ようやく一冊の報告書が完成するのです。

②注記



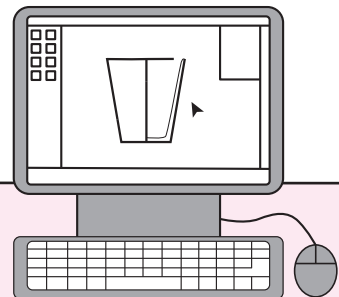
遺物がみつかった場所がわかるように省略した遺跡名などを土器に書きます。

④実測



遺物の形や文様などの特徴がわかるように、実測して図におこします。

⑥トレース



実測図の線をパソコンなどでなぞります。昔は紙とペンを使用していました。

埋文センター イベント情報

(特別協力)

「北条幻庵-横浜・小机城と関東の戦国-

開催中!

期間: 11月22日(土)~1月18日(日) ※毎週月曜日休館(祝日は翌日)

9時~17時(チケット販売は16時30分まで)

場所: 横浜市歴史博物館 企画展示室

横浜市都筑区中川中央1-18-1

横浜市営地下鉄センター北駅より徒歩5分

入館料: 企画展 一般 1000円(常展共通1200円)

高校・大学生 800円(900円)

小・中学生 300円(350円)

三部「戦国群紺の脅威」コーナーに小机城より出土した遺物を展示しています。また、映像コーナーでは「小机城の最新技術測量成果動画」を公開します。3D動画から浮かび上がる小机城の姿をぜひご覧ください。(動画は埋蔵文化財センターHPでも公開します)

埋蔵文化財センター収蔵品紹介展

開催中!

期間: 12月1日(月)~12月25日(木)

場所: 上郷地区センター

横浜市栄区上郷町1173-5

JR港南台駅より神奈中バス「中島」または「西ヶ谷入口」下車徒歩5分

入館料: 無料

港北ニュータウンの発掘調査で出土した「北川表の上遺跡」の弥生時代の遺物をはじめ、同時期の栄区の遺物を展示します。(その足でぜひ埋文センターへもお越しください)

いたち

独川で稲作がはじまった時代 ~弥生時代中期から後期の栄区~

期間: 1月30日(金)~2月27日(金) ※最終日は16時まで

場所: 栄図書館

横浜市中区公田町634-9

JR本郷台駅より徒歩13分またはJR大船駅より江ノ

電/神奈中バス「栄警察署」下車徒歩2分

入館料: 無料

栄区の弥生時代中期~後期の遺跡を紹介するパネル展です。稲作が伝わってきた時代にどのような集落がつけられたのか、どこに人々は住んでいたのかを解説します。

令和7年度 横浜の遺跡展

(仮)「戦争の記憶-横浜の遺跡・景観・モニュメント-

期間: 1月24日(土)~4月12日(日) ※毎週月曜日休館(祝日は翌日)

9時30分~17時(チケット販売は16時30分まで)

場所: 横浜都市発展記念館

横浜市中区日本大通12

みなとみらい線日本大通り駅より徒歩0分。JR関内駅・市営地下鉄関内駅より徒歩10分

入館料: 一般 800円

横浜市内在住65歳以上・小中学生 400円

戦後80年を迎え、市内に残るアジア・太平洋戦争に関連する戦争遺構を紹介する展示を行います。第1会場(1階ギャラリー・旧第一玄関)および第3会場(4階常設展示室ミニ展示コーナー)が埋文センター展示です。

編集後記

50号ということで普段とは雰囲気異なる内容をお届けいたしました。考古学と一言でくられますが、こんなにも幅広い専門の時代や分野があります!遺跡を知りたい方には物足りなかったかもしれませんが、考古学がいかにも多様で奥深いものなのかをみなさんにも知っていただきたく、このような内容にしました。楽しんでいただけると嬉しいです。 Y. N

横浜の埋蔵文化財について発信しています。ぜひ登録をよろしくお願いいたします!

X (旧 Twitter)

Youtube



《埋蔵文化財センターのご案内》

JR根岸線「港南台」駅

2番バス乗り場より神奈中バス港36・86系統「上郷ネオポリス」行きまたは港40系統「栄ブルー」行き、「上郷ネオポリス」下車徒歩1分

京浜急行「金沢八景」駅

3番乗り場より神奈中バス金24・25系統「上郷ネオポリス」行き「上郷ネオポリス」下車徒歩1分

- ・見学等の施設利用は、平日の9~17時までとなっています。
- ・団体の施設利用にあたっては、事前にご連絡ください。



埋蔵文化財センター HP

埋文よこはま 50

発行日 2025年 12月 15日(初版)

編集・発行 公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団
埋蔵文化財センター
〒247-0024

横浜市栄区野七里 2-3-1

TEL. 045-890-1155

FAX. 045-891-1551